

2020-2021 年度

RI2830 地区ロータリー財団ハンドブック

RI2830 地区ロータリー財団委員会

本ハンドブックの主な目的は、地区内全てのロータリークラブ・ロータリアンが以下に重点をおいて作成しています。

- ・ 地区補助金の利用が出来るようにわかりやすく説明すること。
- ・ グローバル補助金事業の概要を理解すること。
- ・ 資金となる年次基金への寄附をすすめること。
- ・ 地区独自のポリオへの取り組みへの理解と参加をすすめること。
- ・ 地区独自の奨学金制度の活用をすすめること

注) このハンドブックは RI2830 地区独自の制約が盛り込まれています。財団管理委員会の制約事項がそのまま当地区の制約事項になっているとは限りません。各クラブはこのハンドブックにある制約事項を十分理解した上でプロジェクトを進めて下さい。

目 次

- ① ロータリー財団とは
- ② シェアシステムについて
- ③ ロータリー財団補助金
- ④ 地区補助金（申請報告書類一式含む）
- ⑤ グローバル補助金について
- ⑥ 奨学金制度（申請報告書類一式含む）
- ⑦ ポリオプラス
- ⑧ ロータリーカード
- ⑨ ロータリー平和センター

添付資料 財団寄付の仕方

クラブの MOU

2020 年版 授与と受諾の条件

2020-2021 年度地区補助金プロジェクト一覧

①ロータリー財団とは

「国際ロータリー」と「ロータリー財団」の関係を簡単に説明します。

「国際ロータリー」は、各クラブを通じて人頭分担金を集めています。しかし、寄付をして頂いたロータリアンに税制上の優遇措置を講じることが法律的に出来ません。

そこで、独立した非営利財団の「ロータリー財団」を設立し、寄付を行ったロータリアンに税制上の優遇措置を講じられるようにしました。日本では、2010年に公益財団法人「ロータリー日本財団」が設立され、皆様の寄付に対して税制上の優遇措置が講じられるようになりました。

以下が、公益財団法人ロータリー日本財団から送られてくる税額控除の証明書です。

所得税の控除＝年間の寄付額－2千円（年間総所得の40%が上限）

税額控除額＝（年間寄付額－2千円）×40%です。

簡単に言うと10万円の寄付で9万8千円が課税所得から差し引かれます。

Rotary 公益財団法人
ロータリー日本財団

確定申告用寄附金領収証送付のご案内

日頃よりロータリー日本財団へのご理解とご協力を御礼にありがとうございます。
ロータリー財団の活動は、ロータリアンをはじめ、「世界でよいことをしよう」というモットーを共有する支援者の方々からの自発的な寄附によって支えられています。
貴財団への寄附は、財団の補助金とプログラムを通じて大切に使用させていただきます。
ロータリー財団はこれからも「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする」という人道的使命達成のために力を注いでまいります。今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

公益財団法人 ロータリー日本財団
理事長 千 玄室

寄附金・領収証

No. 17-077535G 平成29年01月12日
弘前西ロータリークラブ 住所

金額 ¥6,000-

上記金額領収いたしました。 〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田ビル6階24階
公益財団法人ロータリー日本財団

注) 公益財団法人ロータリー日本財団への寄附は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税及び法人税の控除対象となります。取の扱いについては、お住まいの自治体に直接お問い合わせ下さい。

←表面は領収書

裏面は控除証明書↓

府益担第1345号
平成28年11月1日

公益財団法人ロータリー日本財団
代表者 千 玄室 殿

内閣総理大臣
安倍 晋三

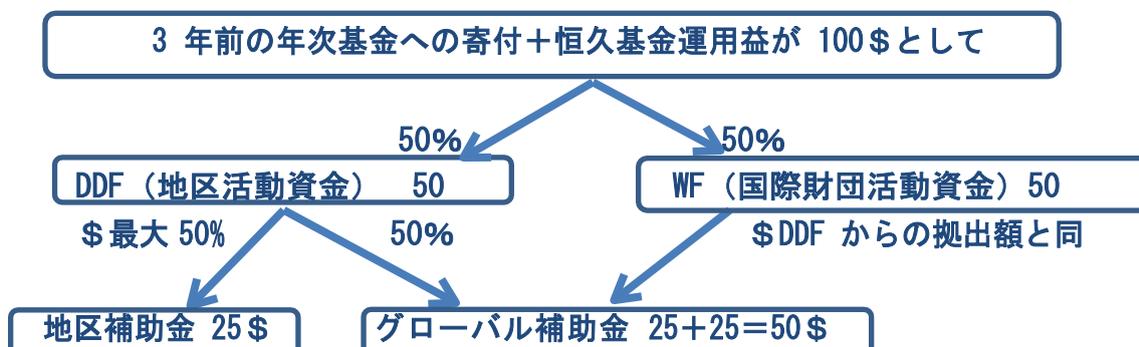
税額控除に係る証明書

貴法人が、租税特別措置法施行令第二十六條の二十八の二第一項に規定する要件を満たしていることを証明します。

本証明書に係る有効期間は、以下のとおりです。
平成28年11月1日 から 平成33年10月31日 まで

※税制上の優遇措置を受ける場合は日本円で寄附して下さい。米ドルで寄附した場合、日本での税制上の優遇措置を受けられなくなる可能性があります

②シェアシステムとは

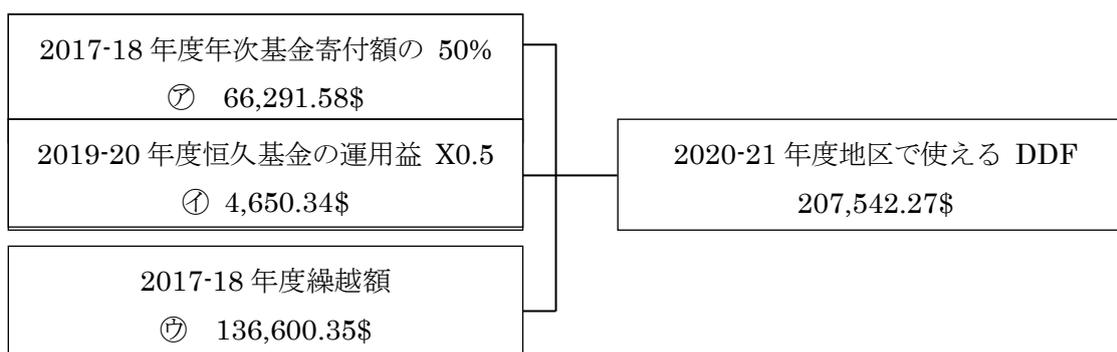


未使用のDDF は次年度に繰り越されますが地区補助金には使いません。

(グローバル補助金やポリオへの寄附、平和センターへの寄附には使えます。)

	3年前の年次基金寄付の 50%	恒久基金の運用益	繰越額	地区で使えるDDF
2017-18 年度	\$ 58,165.65	\$ 4,075.17	\$ 140,107.90	\$ 202,348.72
2018-19 年度	\$ 56,627.51	\$ 4,158.02	\$ 119,629.72	\$ 180,415.25
2019-20 年度	\$ 72,477.78	\$ 4,075.17	\$ 140,107.90	\$ 202,348.72
2020-21 年度	\$ 66,291.58	\$ 4,650.30	\$ 136,600.35	\$ 207,542.27
2021-22 年度	\$ 69,259.31	約\$ 4,700	\$ 105,811.51	約\$ 179,770.82

シェアシステムは 3 年前の年次基金寄附額と前年度恒久基金による運用益から計算されます。



繰越額は地区補助金に使用することは出来ませんので㊦+㊧=70,941.92\$の半分が地区補助金として使える額です。

今井ガバナー年度は地区補助金に 47,232.00\$、グローバル補助金へ現時点で 57,000\$、使用しました。よって 2021-22 年度への繰越額は現時点で 103,303.27\$です。

さて、2018年11月18日ロータリー財団管理委員会より、DDFの活用に関して通達がありました。

「2018-2021年度補助金特例として、DDF残高の最大二年間 20%までを地区補助金に使うことができる。

2018年7月1日残高に対し、2019-2020年度 50%、2020-2021年度 50%」

さて、2020-2021年度（源新ガバナー年度）では3年前の年次寄付額の25%である33,145.79\$に恒久基金の運用益（今年度4,700\$）+2017年度末のDDF残高119,629.72\$の10%=11,962.97\$総額48201.86\$+運用益\$=約5万ドル位が地区補助金として使えることとなります。地区補助金奨学生を1名排出しても1クラブ当たり1000\$以上は配分できる財源になることを理解して2020-2021年度の地区補助金の申請の一助として下さい。

当地区は繰越額が多いのですが、年次基金への寄付額がまだ充分ではありません。地区内全クラブに1000\$地区補助金を分配するには1000\$X41クラブX4（地区補助金は3年前の年次寄付の50%の50%までなので年次寄付額の1/4が上限）=164000\$は確保したいです。

回りくどい言い方になりましたが、年次基金への寄附が3年後の地区の活動に大きなポイントとなるか理解できると思います。

③ロータリー財団補助金

ロータリーの補助金には地区補助金とグローバル補助金があります。

地区補助金のコンセプトは「**地区で良いことをしよう**」です。例年当地区では、地区内で各クラブが行っている奉仕活動に用いられています。

グローバル補助金のコンセプトは「**世界で良いことをしよう**」です。当地区では現在タイ RI3330 地区との浄水器設置プロジェクトと脳卒中予防啓発活動に使われています。

相違点などを箇条書きします。

	地区補助金	グローバル補助金
財源について	財源は地区財団活動資金（DDF）とクラブの資金です。	財源は地区活動資金（DDF）と国際活動資金（WF）と現金の組み合わせです。WF の組み合わせは DDF の額に対して同額が支払われます。
資金の出所	3 年前の年次基金寄付と恒久基金の運用益による地区活動資金（DDF）の 50%を上限と下額を各クラブに割り当てます。	地区活動資金（DDF）から地区補助金やポリオプラス・国際平和センターなどへの寄贈した残額で配分します。
分配	地区が一括に申請して、補助金を分配します	プロジェクト毎に相手地区やクラブと額を相談して直接財団に申請します。
プロジェクトの期間	最長で 24 ヶ月まで、原則 1 年間の 短期 です。	長期 にわたるプロジェクトに使われます。
奨学金	奨学金の期間は 2 年間まで	奨学金の期間は 1 年から 4 年
留学先	国内・国外 といません	海外のみ です
プロジェクトの額	1 件当たりの補助金額の最低額はありませぬ。当地区ではおおよそ 数万円から 10 数万円位 を各クラブに分配しています。	1 件当たりの補助金額は 最低 3 万ドル上限 40 万ドル です。
分野	プロジェクトの分野に 制限は無く 地区の裁量に任せられます。	6 つの重点項目の 1 つ以上に該当するプロジェクトに 限定 されます。
残金	補助金の残金は地区活動資金（DDF）として繰り越されます。	補助金の残金は国際活動資金（WF）に組み入れられます。
管理	地区補助金は 地区ロータリー財団委員会 が管理	財団 がプロジェクトを審査して個別に支給する。

④地区補助金

地区補助金は、地区やクラブの比較的規模の小さい、短期的なプロジェクトを対象としています。

プロジェクト対象事業

- 地域社会の発展（一般、建物の修復、災害復興、ボランティア奉仕）
- 食糧／農業（一般、ボランティア奉仕）
- ロータリーの交換活動
- 保健（一般、疾病、ボランティア奉仕）
- 水（衛生、供給／確保、ボランティア奉仕）
- 教育（一般、識字率の向上、奨学金、ボランティア奉仕）

申請の流れ

- 3月）ガバナー事務所へ①申請書 ②MOU ③見積書 ④チェックリストを提出
- 7月）地区財団セミナー ※前年度の補助金報告がメインです
- 8月）地区補助金の振込
- 12月）地区財団セミナー兼補助金管理セミナーに参加 ※次年度の申請の条件です

申請に伴うよくある質問

- Q. 申請段階で会長エレクトが決まっていなくて申請できないのか？
A. 申請できます。申請段階でエレクトが決まっていなくて空欄の状態でも申請書のコピーを提出してください。エレクトが決まり次第、原本を郵送してください。
- Q. プロジェクトの申請額に上限はあるのか？
A. 上限はありません。
- Q. クラブ拠出金が0円でも申請可能か？
A. もちろん申請可能ですが、原資が限られているため、各クラブには拠出金も合わせた申請を協力いただくと助かります。
- Q. 前年度と同一事業で申請できるのか？
A. 申請できます。単年度で完了する事業が申請条件です。
- Q. 地区補助金で奨学生申請しているクラブは、それ以外の地区補助金申請は可能か？
A. 奨学生と他地区補助金の原資を別に予算化しているため申請可能です。



ロータリー財団地区補助金（DG）申請書
R I 第 2 8 3 0 地区 ロータリー財団委員会

（様式 1-1）

2020-21 年度 実施予定の地区補助金申請用

クラブ名 : _____
 プロジェクト名 : _____
 実施場所 : _____
 実施期間（西暦）： 開始予定日（西暦）： _____ 年 _____ 月 _____ 日～ 完了予定日（西暦）： _____ 年

第 2 8 3 0 地区 地区補助金（DG）申請額

_____ 円

プロジェクトの概要

- このプロジェクトで何をしますか。
- プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）。 _____ 名
- このプロジェクトに何名のロータリアンが参加する予定ですか。 _____ 名
- これらのロータリアンは何を行いますか。プロジェクトへの財政的支援を除き、ロータリアンによる具体的な活動予定をご記入ください。
- このプロジェクトを実施することにより、地域社会に対するどのような長期的影響が期待されますか。
- 協力団体が関与している場合、その団体名と役割を記述して下さい。

プロジェクト収支予算書

■収入予算（必要に応じて行を追加してください）
（単位：円）

収 入 項 目	金 額
1. 地区補助金申請額	
2. クラブ拠出金額	
3. その他の資金	
収 入 合 計 額	

■支出予算（必要に応じて行を追加してください）
（単位：円）

支 出 項 目	業 者 名	金 額
支 出 合 計 額		

※地区補助金の審査結果はドル建てとなりますので、ご了承ください。



ロータリー財団地区補助金 (DG) 申請書
RI 第 2830 地区 ロータリー財団委員会

(様式 1-2)

2020-21 年度実施予定の地区補助金申請用

活動の
種類 (対象種類■) :

- | | | |
|---|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (一般) | <input type="checkbox"/> 保健 (一般) | <input type="checkbox"/> 教育 (一般) |
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (建物の修復) | <input type="checkbox"/> 保健 (疾病) | <input type="checkbox"/> 教育 (識字率の向上) |
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (災害復興) | <input type="checkbox"/> 保健 (ボランティア奉 | <input type="checkbox"/> 教育 (奨学金) |
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (ボランティア奉 | <input type="checkbox"/> 水 (衛生) | <input type="checkbox"/> 教育 (ボランティア奉仕) |
| <input type="checkbox"/> 食糧/農業 (一般) | <input type="checkbox"/> 水 (供給/確保) | <input type="checkbox"/> 管理運営費 (最高 3%まで) |
| <input type="checkbox"/> 食糧/農業 (ボランティア奉仕) | <input type="checkbox"/> 水 (ボランティア奉 | <input type="checkbox"/> 臨時費 (最高 20%まで) |
| <input type="checkbox"/> ロータリーの交換活動 | | |

プロジェクト連絡担当者 :
自宅住
電話番号
メールアドレス

クラブでの役職 :

〒
TEL : FAX : 携帯電話 :

補助金振込銀行口座名 :

銀行名 支店名
口座番号 口座種別 (普通/当座)
口座名義 (下記※参照)
同上 (フリガナ)

※銀行口座名義は、何々ロータリークラブ・地区補助金・役職名・氏名の入った口座名義とし、地区補助金で前年度使用している場合は継続して使用可能ですが、上記条件に合った口座名義でない場合は銀行で新規に開設してください。

資格認定手続き管理責任者 (1名) 及び資金管理責任者 (2名) の署名

資格認定手続き管理責任者氏名 (1名) _____ 日付 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

署名 _____ (1名)

資金管理責任者氏名 (2名) _____ 日付 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

署名 _____ (2名)

※上記責任者については兼任を妨げません。

クラブ会長・クラブ会長エレクトの署名

ロータリークラブ会長・会長エレクトとして上記の通り申請します

	クラブ会長	クラブ会長エレクト
就任年度	2020-2021 年度	
氏名		
署名		
日付		

第 2830 地区 ロータリー財団委員会委員長 殿

申請日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

添付資料 : クラブ宛ての見積書・仕様

(注1) 申請書記入欄は署名を除き、原則的にワープロで作成して下さい。

(注2) 本書式に漏れなく記入の上、地区事務所に郵送して下さい。

第 2830 地区 地区補助金申請書チェックリスト

チェックした事項には ☑印を付けてください

1. 申請書は、全ての項目（様式 1-1~1-2）の記入をしましたか
2. 特に、ロータリアンによる具体的な活動予定の記入をしましたか
3. 申請書は、署名を除き、原則的にワープロで作成しましたか
4. 何々ロータリークラブ・地区補助金・役職名・氏名の地区補助金受払専用銀行口座を開設しましたか
5. 事業総額のうち地区補助金で補填しきれない不足分をクラブが拠出する準備は出来ていますか
6. 見積書・カタログ・仕様書等は添付しましたか
7. 見積書の有効期限は、十分余裕がありますか。日付、消費税等の記載は適正にされていますか
8. 物品寄贈の場合は、受贈者の特定がされていますか
9. その後のメンテナンスや管理についても責任者が特定されていますか
10. 申請プロジェクトは「授与と受諾の条件」に合致していますか
11. 地区補助金管理セミナーに、クラブから 1 名以上出席しましたか
12. 地区で定める審査基準に合致していますか
13. クラブの参加資格認定：覚書（MOU）の「承認と同意」に署名をし、当該 MOU 及び地区補助金申請書チェックリストと共に地区補助金申請書（様式 1-1~1-2）を地区事務所へ提出しましたか



ロータリー財団 地区補助金(DG) 報告書

(様式2-1)

RI 第 2830 地区 ロータリー財団委員会
地区補助金報告書 (2020-2021 年度実施プロジェクト用)

本書式に漏れなく記入の上、地区事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: _____

プロジェクト名 : _____

報告書 : 中間報告書 最終報告書

実施期間 : 開始日(西暦) 年 月 日 ~ 終了日(西暦) 年 月 日

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。これが中間報告書である場合には、今後実行すべき活動内容も説明してください。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。(ロータリアン以外) _____ 名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 _____ 名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体的活動状況を記入してください。

6. この事業をおこなった結果、地域社会にどのような長期的な成果が得られましたか。

7. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

8. クラブ責任者報告(所感や感想を記入してください)



ロータリー財団 地区補助金(DG) 報告書

(様式2-2)

RI 第 2830 地区 ロータリー財団委員会
地区補助金報告書 (2020-2021 年度実施プロジェクト用)

本書式に漏れなく記入の上、地区事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ名 : _____

プロジェクト名 : _____

報告書 : 中間報告書 最終報告書

財務報告 (クラブはすべての支出の領収書のコピーを少なくとも 5 年間保管しなければなりません)

使用通貨 日本円 為替レート _____ 円 = 1 米ドル

9. 収入 (必要に応じて行を追加してください) (単位: 円)

収入項目	予算額	決算額
1. 地区補助金受領額		
2. クラブ拠出金額		
3. その他の資金		
プロジェクト収入合計額		

10. 支出 (具体的にお書きください。必要に応じて行を追加してください) (単位: 円)

支出項目	予算額	決算額	財産として残る物品の目録	
			所有者名	所有者住所
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
プロジェクト支出合計額				

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真はすべて、RI の所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含めこの写真のすべての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可を RI とロータリー財団に与えます。これには、必要であれば、RI の独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RI およびロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

証明の署名 (クラブ会長) _____ 日付 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

ロータリークラブ名 _____ ロータリークラブ _____



ロータリー財団 地区補助金(DG) 報告書

(様式2-3)

RI第 2830 地区 ロータリー財団委員会
地区補助金報告書 (2020-2021 年度実施プロジェクト用)

本書式に漏れなく記入の上、地区事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ名 : _____

プロジェクト名 : _____

報告書 : 中間報告書 最終報告書

11. 領収書等一覧表

※領収書(原本)は補助金の対象となった全てを重ならないように貼って下さい。(領収書コピーは貴クラブにて5年間保管下さい。)

※物品の寄贈の場合には、受贈者の受領書(原本)を貼って下さい。(受領書コピーは貴クラブにて5年間保管下さい。)

※プロジェクトの新聞記事等がありましたら貼って下さい。 ※地区補助金専用口座のコピーを貼って下さい。

添付欄



ロータリー財団 地区補助金(DG) 報告書

(様式2-4)

RI第2830地区ロータリー財団委員会

地区補助金報告書(2020-2021年度実施プロジェクト用)

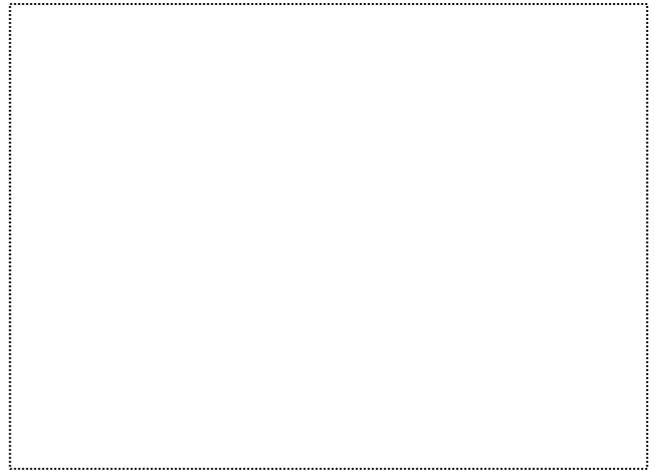
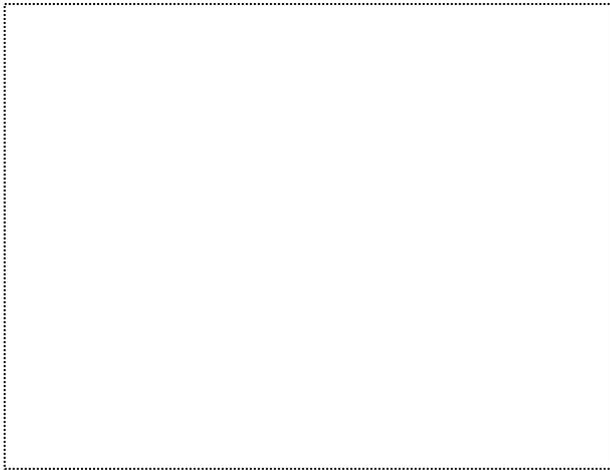
本書式に漏れなく記入の上、地区事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ名 : _____

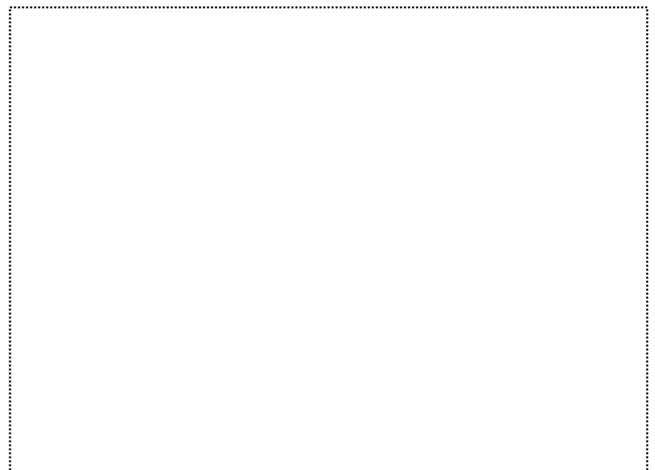
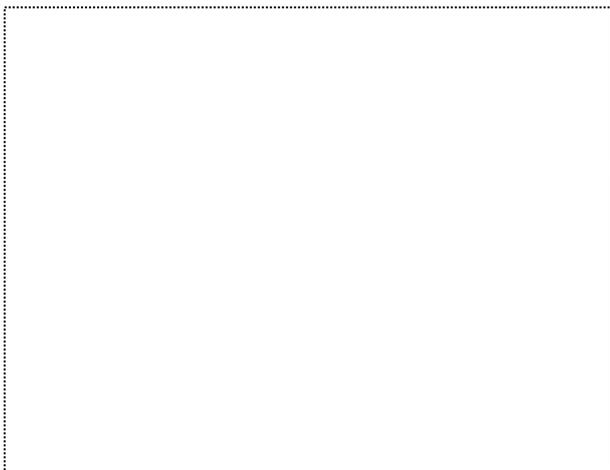
プロジェクト名 : _____

報告書 : 中間報告書 最終報告書

12. プロジェクト実施写真(プロジェクト実施写真を3~4枚貼り付けて下さい。)



写真添付欄



⑤グローバル補助金

グローバル補助金は、国外での大規模で長期のプロジェクトを対象としており、費用総額3万ドル以上のプロジェクトが対象となります。またロータリーの重点分野の1つ以上に該当し、ロータリアンが関与するものでなければなりません。

- 以下の6つの重点分野の一つ以上に関連している
 - ・ 平和と紛争予防／紛争解決
 - ・ 疾病予防と治療
 - ・ 水と衛生
 - ・ 母子の健康
 - ・ 基本的教育と識字率向上
 - ・ 経済と地域社会の発展
- 持続可能である
- 測定可能であり、かつ成果をもたらす
- 実施地の地元社会の人々が特定したニーズに取り組む
- 実施地の地元社会の人々が積極的に参加する
- ロータリークラブや地区による活動の終了後も、地域社会の人々が自分で取り組んでいくことができる。

他地区ではクラブ単位でグローバル補助金を申請して海外での奉仕活動を行っている地区もありますが、当地区では地区単位で申請しています。2018年11月18日のロータリー財団地域セミナーでは**各ロータリークラブがグローバル補助金にチャレンジ**することを推奨しています。グローバル補助金申請には最低でも6ヶ月は必要です。また、オンラインでの申請で、ガバナー、ガバナーエレクト、地区財団委員長の承認作業など複雑な作業があります。

今後は各クラブがグローバル補助金を申請した場合のルール作りが必要と考えます。(一つの年度に何クラブまで申請できるか(現状では1クラブがやっとです)、配分できる補助金額は最大何ドルで最低何ドルか、30%ルールの理解)→共同提唱クラブを見つけて5000\$から10000\$程度までか?グローバル委員会がどこまでサポートするか?(必要書類のチェックなどはグローバル委員会が日本の財団室と確認して作業を進める必要があると考えられます。)

当地区でのグローバル補助金での事業

当地区ではタイ RI3330 地区とグローバル補助金事業を行っています。パイロット地区時代に識字率向上プロジェクトを行い、現在は浄水器の設置事業や脳卒中予防啓蒙活動を行っています。当地区は毎年 15000\$から 30000\$を支払い、RI3330 地区の地区大会の日程に合わせて事業の状況の視察を行っておりますが、2020-2021 年度の視察は新型コロナの影響により行えませんでした。



⑥RI2830 地区奨学金制度について

奨学金制度について：R 財団の奨学金プログラムには地区補助金奨学生とグローバル補助金奨学生があります。

【地区補助金奨学金制度とグローバル補助金奨学金制度の違い】

	地区補助金奨学生	グローバル補助金奨学生
対象	高校生以上	大学院生以上
進学先	国内・県内でも可能	国外に限定
研究分野	制限無し	グローバル補助金の 6 つの重点項目に合致
奨学金	30-60 万円/年間	最低 3 万ドル/年間
期間	1 年間	原則として 1 年間

奨学金の申請方法：

申請は、各クラブが申請書類を作成します。奨学生には地区大会への参加義務など、入学先でのロータリークラブの行事への参加など義務があります。

現在までの地区補助金奨学生は、主に母子家庭など収入の少ないご家庭のご息が大学進学に合わせて申請されているのが多いです。



一方でグローバル補助金奨学生は大学院生以上で 6 つの重点項目に合致する留学生が対象です。そのため現在まで、面接にはいたったが、推薦するにはあたらない学生がいましたが、奨学生として推薦できる学生は排出できていません。

学友会について

当地区にはR 財団奨学生の学友会が 2014-15 年度に発足しています。現在学友の定義は R財団国際親善奨学生だけではなく、過去に GSE として参加した社会人、青少年交換留学生、地区補助金奨学生（ガバナー推薦があれば学友になれる）と門戸を広げています。学友会のメンバーはまだ数人しかいませんが、これからも学友の発掘を続けていきますので、奨学生・留学生派遣クラブの皆様には情報提供をお願いすることが多々あると思いますので宜しくお願いします。



国際ロータリー第 2830 地区

2021-22 年度 ロータリー財団地区補助金奨学生募集案内

ロータリークラブは世界中の 2 百以上の国や地域に 3 万 3 千以上のクラブ、120 万人の会員からなる奉仕団体です。青森県は世界に 530 以上ある地区の一つ（第 2830 地区）に該当します。

当地区はロータリー財団の地区に対する補助金を利用して、次代を担う優秀な若者の就学を支援する奨学金制度を設けています。

2021 - 22 年度は奨学生を若干名募集します。

国際ロータリー第 2830 地区 地区補助金奨学生制度

原則として、当地区内に在住する学生のなかで、次代を担う優秀な若者であって、かつ経済的に困窮している学生を支援する目的で奨学金制度を運用します。

奨学金支給期間は、教育機関を卒業するまでの期間のうちの 1 年間とします。

募集人員は、若干名とします。

奨学金支給額は、高校および専門学校生には年間 30 万円、大学生には年間 60 万円とします。

奨学金を受ける奨学生の資格は以下のとおりとします。

学歴	高等学校入学予定者以上
就学先	国内・国外の高校・専門学校・大学・（高校生・海外留学は除きます）
国籍および本籍・居住地	日本国籍を有し下記の何れかに該当するもの ・当地区内に本籍を有するもの、あるいは地区内に住民登録していること ・当地区内の中学校・高等学校・専門学校・大学に在籍していること
学業・成績	高等学校在学生の場合は 1 年次から申請時までの成績が平均 3.5 以上のもの 専門学校や大学在学生の場合は、その学校における学業習得に意欲があり、学業を確実に修了可能見込みのもの 高等学校入学予定者は志望校入学が条件

・奨学生の選定基準

- ① 学業成績が優秀で、かつ厳しい学業・留学生生活を完遂可能なこと
- ② 出身地区の風土・文化等を理解し、就学先において正しく説明できること
- ③ 就学先の環境に順応し、学生生活・集団生活において分別を持った行動のできること

・その他留意事項

- 1 同一生計世帯の給与所得者の源泉徴収表を提出すること。給与所得以外の収入がある場合は前年度の確定申告の写しを提出すること。
- 2 奨学期間中は勉学に励むとともに、ロータリークラブ、家庭、社会を通じて就学先の諸事情の理解に努めること
- 3 就学中に就学先のロータリークラブの例会等に参加して数分間の簡単なスピーチを行っていただくことがあります。また奨学期間の前後に担当ロータリークラブ（ホストクラブ）のミーティングに最低1回ずつ出席していただきます。また、年数回の簡単な報告を行って頂くことがあります。**国際ロータリーの地区大会へは必ず出席して下さい。**
- 4 申請の際に、就学先の入学許可を証明する書類が必要です。（日程上、入学許可が得られていない場合は、その旨を担当クラブに報告下さい。）
- 5 奨学期間終了後は担当ロータリークラブに速やかに報告すること。
- 6 学業成績不良、不法不良行為、報告の不提出、当地区担当者の承諾を得ない学業課程の変更、中途退学、修学地域の語学に対する知識の不足、その他奨学金の条件を充たせなくなる様な事態が発生した場合に**奨学金は打切られる**ことがあります。
- 7 ロータリークラブの会員、またはその実子、継子、孫、兄弟姉妹、配偶者およびその扶養者は応募できません。
- 8 他の付与型の奨学金制度もあわせて利用することは出来ませんが、他の貸与型奨学金との併用は可能です。
- 9 奨学金の支給は就学期間内を予定しています。（就学前に支給されることはありません。）
- 10 奨学金付与期間終了後にレポート提出をしていただきます。

・日程：

2021/11	奨学生募集開始
2022/01/15	応募書類提出期限
2022/02	奨学生面接→決定
2022/04～09月	就学に出発

お問い合わせ先：国際ロータリー第 2830 地区地区事務所

親権者又は後見人の収入内容				
収入区分		年間所得額		
計		円		
家族状況 (申請者除く)	氏名	申請者からみた続柄	年齢	職業・勤務先・学校等
保護者	(ふりがな) 氏名			
	生年月日	年	月	日生まれ (才)
	現住所	〒		
	申請者からみた続柄		職業	
上記のとおり、奨学金の給付を受けたいので申請します。				
年 月 日				
ロータリークラブ				
会長 氏名 _____				
住所				
奨学金候補生 氏名 _____ 印				
親権者又は後見人 氏名 _____ 印				
(あて先)国際ロータリー第 2830 地区事務所				

注 1 収入区分は、給与(賞与含む)、利子、株式手当、営業収入、農業収入等に区分して記入して下さい。

2 職業欄は、勤務先等を具体的に記入して下さい。

奨学生推薦書

氏名		生年月日	年月日生	
指導 教官 等 所 見	学業	人物	家庭状況	その他特筆すべき 事項

上記の者は、人物及学業成績も優秀で、奨学生として適当と認め推薦します。

年 月 日

指導教官名

印

または

学長又は

出身学校長名

印

(あて先) 国際ロータリー第 2830 地区事務所

注 成績証明書を添付して下さい。



国際ロータリー第 2830 地区 2021-2022 年度

ロータリー財団グローバル補助金奨学生募集案内

ロータリークラブは世界中の 2 百以上の地域に 3 万 3 千以上のクラブ、120 万人の会員からなる奉仕団体です。青森県は世界に 530 以上ある地区の一つで、第 2830 地区となります。

ロータリー財団はロータリークラブ会員で構成されており、以下の「6 つの重点項目」に対して支援していく為のグローバル補助金制度があります。

- ・ 平和と紛争解決
- ・ 疾病予防と治療
- ・ 母子の健康
- ・ 水と衛生設備
- ・ 基礎的教育と識字率向上
- ・ 経済と地域社会の発展

(6 つの重点分野の補足説明は国際ロータリーの web サイトを参照のこと)

第 2830 地区は、このグローバル補助金の一部を有意な人材の留学を支援する奨学金として活用することとします。

奨学金制度の概要は以下のとおりです。

・ 留学先：上記の「6 つ重点項目」のいずれかをテーマとするコースのある大学院又はこれに

準ずる機関

- ・ 留学時期：2022 年 4 月から 2023 年 3 月頃に出発される方
- ・ 募集人員：1 名(予定)
- ・ 募集対象：大学院生以上の学歴を有される方

(現在、大学卒業予定で大学院に進まれる方、講師・准教授以上の方)

- ・ 留学期間：9-48 ヶ月間であること

(ただし、当奨学金の支給期間は単年のみ)

- ・ 支給額： 30,000 米ドル
- ・ 応募資格：日本国籍を有し下記の何れかに該当するもの

- * 申請日から半年以上前から当地区内に本籍を有するか、又は当地区内に住民票のあるもの
 - * 申請日から半年以上前から、当地区内の大学・会社に所属するもの
 - * 当地区内に両親が居住しているもので、かつ、留学後に当地区内に就学・就職予定のもの
- ・ 選考基準：学業成績が優秀で国際親善使節としての役割を果たせるもの、かつ、留学生生活を完遂出来るだけの能力を有し、留学先にきちんと日本国の歴史、文化、人間性などを説明できるもの
- ・ 留意事項
- ① 留学後に 2 ヶ月に 1-2 回程度、留学先のロータリークラブのミーティング(例会)に出席して数分の簡単なスピーチを行っていただきます。また留学前後に青森県のロータリークラブのミーティングにも出席していただきます。
 - ② 申請の際に、留学先の大学院などの入学許可を照明する書類が必要です。
 - ③ ロータリークラブの会員、またその実子、継子、孫、兄弟姉妹、配偶者及びその扶養者は応募できません。
 - ④ 留学期間中及び終了後に地区事務所に留学レポートを提出していただきます。書式は国際ロータリーの web サイトを参照してください。
 - ⑤ 他の奨学金制度を受けて留学される場合は、このグローバル補助金制度を利用できません。
 - ⑥ 奨学金の支給は留学期間内を予定しています。
(留学前に支給されることはありません)

・ 奨学金募集日程：

2021 年 7 月から随時申請を受け付けます。

留学のおおよそ 9 ヶ月前までに、応募書類を提出のこと。

留学のおおよそ 6 ヶ月前までに、地区での面接・選考会を開催します。

2022 年 4 月から 2023 年 3 月までの間に留学に出発すること。

お問合せ先：国際ロータリー第 2830 地区事務所



2021-22 年度国際ロータリー第 2830 地区
 グローバル補助金奨学金制度奨学金
 給付申請書（地区申請用書類）

写真を貼付

(ふりがな) 氏名		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	年 月 日 (才)
本籍住所				
現住所	〒 電話番号 FAX 番号			
連絡先電子メール				
携帯電話番号				
家族住所	〒 電話番号 FAX 番号			
家族構成 名前 _____ 続柄 _____ 年令 _____ 職業 _____ 名前 _____ 続柄 _____ 年令 _____ 職業 _____				
申請者学歴	年 月 _____ 卒業(高等学校) 年 月 _____ 大学 _____ 学科 卒業・卒業予定(大学) 年 月現在 _____ 大学 _____ 研究室・講座 _____ 年 在学中・進学予定 (勤務先・在籍学校電話番号 _____)			
取得資格・合格している検定、褒賞、在学中の課外活動や奉仕活動など				

奨学生推薦書

氏名		生年月日	年月日生
指導教官等 所見	学業	人物	その他特筆すべき 事項

上記の者は、人物及学業成績も優秀で、奨学生として適当と認め推薦します。

年 月 日

指導教官名

印

または

学長 又は

出身学校長名

印

(あて先) 国際ロータリー第 2830 地区事務所

⑦ポリオプラス・プログラムの歴史

RIのポリオ根絶プログラムは1979に始まりました。

1979年 3・Hプログラムとして、フィリピンの600万人の児童にポリオの予防接種をするという5ヵ年プロジェクトを実施。1985年 ポリオプラス・プログラムが発足。1億2,000万ドルを募金する声明を発表。

1986年7月 1億2,000万ドルの募金スタート。

1988年6月 2億4,700万ドルの募金額を達成し、募金（キャンペーン）を終了。

1990年 米州がポリオ撲滅宣言。

2000年 西太平洋地域がポリオ撲滅宣言。

2007年 規定審議会で、ポリオの撲滅を国際ロータリーの最優先の目標とすることを承認、確認。

2009年 1985年以来、ポリオの撲滅活動に8億ドル以上を寄付してきた結果ポリオの発症数は99%以上減少した。

2013年6月 RI国際大会で、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せする(年間3,500万ドルまで)と発表。ポリオ撲滅最終戦略計画がスタート。

2014年3月世界保健機構（WHO）がインドでのポリオ根絶を発表

2015年9月ナイジェリアがポリオ常在国からはずされ、アフリカ大陸地域がポリオフリーとなる。ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン2ヶ国となった。

当地区のインド NID への参加活動

当地区では2000-2001年度から毎年インドポリオワクチン全国一斉投与へ参加しています。2020年は1月18日に実施されました。インドでのワクチンは2018年度までは経口の生ワクチンを使用されますが、2019年度からは注射による不活化ワクチンへ移行する予定です。2020-21年度のNIDは新型コロナウイルスの世界的な蔓延により実施することはできませんでした。



⑧ロータリーカードについて

ロータリークラブカード

2016 年から地区ガバナー事務所・地区委員会・地区内各クラブを対象としたダイナースカードの発行がはじまりました。周年行事や例会費用の振込手数料はカード決済ですと 0 円です。クラブ運営に魅力のあるカードですので是非ご検討下さい。

①ロータリー個人カード

ロータリーの個人向けカードは、オリックスコーポレーションの「**ロータリーマスターズカード**」と「**ロータリーダイナースクラブカード**」の 2 つがあります。

	ロータリーダイナースカード	ロータリーマスターズカード
年会費	21000 円（プラチナカード）	0 円（ゴールド 10000 円）
利用限度額	無し	80-200 万円（ゴールド200-500 万円）
ポイント還元	0.3%が財団へ寄付	0.3%が財団へ寄付
認証ポイント	無し	あり（1000 円につき1 ポイント：1000 ポイントが 5000 円の寄付になる。各自で手続きが必要）
その他	会員 ID が刻印される ビジネスカード（経費決済専用カード）を作成可能 指定レストラン2 名以上利用で1 名分無料特典あり 空港ラウンジあり	ビジネスカードを作成可能 ゴールドカードの年会費の内 3000 円分が財団の寄付になる ゴールドカードは国内・海外旅行の傷害保険 紛失盗難保障あり

②ロータリークラブカード、地区カード、地区委員会カード

2016 年2 月に生まれたカードで各ロータリークラブの会長または幹事の名前あるいはガバナー名、各医院町名で作成する単年度のカードです。カードの使用期限は 6 月 30 日までの年度末で、毎年新たに会長または幹事の名前etc で作成し直します。最大のメリットは年会費無料です。利用額の 0.3%がポリオ撲滅資金に寄附されます。銀行振込で送金していた買い物（例えばオクトンなど）をカード決済すれば送金手数料がかからないのでクラブの金銭負担が軽減されます。カード利用代金の各ゾーン上位 3 地区と 3 クラブが毎年「ロータリーカード・ベスト地区賞・クラブ賞」として表彰されます。

※各カードにご興味のある方は、地区の財団委員までお問い合わせ下さい。各カード会社からパンフレットや申請書類を送付するように手配します。

⑨ロータリー平和センタープログラム

ロータリー平和センタープログラムは、国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号や、平和と紛争解決の分野の専門能力開発修了証の取得を目指す人に奨学金（ロータリー平和フェローシップ）を提供するものです。

プログラムにはさまざまな留学期間が選べる修士号取得コースと専門能力開発修了証コースの2種類があります。

修士号取得コース	専門能力開発修了証の取得コース
6大学内に5つのセンター	1大学内に1つのセンター
15～24ヶ月コース	3ヶ月コース
各大学によって期間が異なる	1月～4月と6月～8月の2コースが
年間1センターに10名までの新フェロー 合計50名まで	年間、各コースに25名までの新フェロー 合計50名まで
将来のリーダーを育成	今日のリーダーを強化

奨学金支給額は修士号取得コースで概ね **5万ドル以上（上限12万ドル）** です。修士号取得は日本の国際基督教大学、オーストラリアのクイーンズランド大学、イギリスのブラッドフォード大学、アメリカのデューク大学・ノースカロライナ大学チャペルヒル校（2校で一つのセンターを共有）、スウェーデンのウプサラ大学の6大学5センターがあります。2018年の地域財団セミナーの場で「**マクレア大学（ウガンダ）アフリカセンター設立。2030年まで証明書プログラム→四つのセンター設置計画**」と発表がありました。

専門能力開発修了証の取得はタイのチャラコーン大学に1大学に1センターがあります。

「日本ロータリー平和センター基金」という冠名基金が設立されました。平和フェローシップ運用へのご寄付はこちらをお願いします。

【ロータリー平和フェローシップの応募資格】

- ・職業や学業における業績、個人的活動、社会奉仕活動を通じて、国際理解と平和に対する熱意と献身を明らかに示していること
- ・申請時に、優秀な成績で関連分野における学士号またはそれに相当する学位を保持していること
- ・修士号取得プログラムの場合、有給・無給を問わず、関連分野において少なくとも合計3年間のフルタイムの職務経験を有していること
- ・専門能力開発修了証プログラムの場合、現在、フルタイムで中級職または上級職として

雇用されており、関連分野において少なくとも5年の職務経験を有していること

・修士号取得プログラムの場合は第二言語、修了証プログラムの場合は英語に堪能であること

・優れた指導力（リーダーシップ・スキル）を備えていること

次に該当する人は、ロータリー平和フェローシップの資格がありません。

(a) ロータリアンおよび名誉ロータリアン、(b) ロータリークラブや地区、国際ロータリー、その他のロータリー関連団体の被雇用者、(c) 範疇(a)および(b)に該当する人の配偶者、直系家族（血縁の両親や祖父母）、および以上の記述に当てはまる元ロータリアンやその親族は、退職から36カ月が経過するまでは資格がないものとみなされます。

【応募スケジュール】

プログラム開始の前々年度の3月末までに各クラブが地区の財団委員会に推薦者がいることを口頭でお伝え下さい。

地区は前々年度の4-5月頃に候補者を面接します。

地区は前々年度の6月末までに国際ロータリー世界本部に申請を行います。

前年度の7月から10月にかけてロータリー財団とロータリー平和センター提携大学が申請書類を審査し最終候補者を選考します。

前年度の11月に世界競争制による選考結果が地区と候補者に通知されます。

